

近藤栄紀
市議会議員



○ 18歳で社会人としてがんばっている若者への支援について

その他の質問

- ・ここにこ地域づくり交付金事業について
- ・観光看板と標識について
- ・新型コロナワクチン接種について



議 6月補正予算案では、新型コロナウイルス感染症拡大、物価高騰などの影響を受けた経済・地域振興対策として「かつやまっ子元気応援臨時給付金」18歳以下の子ども1人当たり6万円を給付、「学生応援臨時特別給付金」大学生等に1人当たり6万円を給付、その他にも様々な市民の生活支援策を盛り込んでいる。

理 今年度は、コロナ禍において同時進行する原油価格・物価高騰に直面する収入のないうち々に対する市独自の支援策の一つとして、令和2年度に実施した「かつやまっ子元気応援臨時給付金」の対象を満18歳以下の子どもがいる子育て世代まで拡大し、給食費等への補填も視野に6万円を支援するものである。

また、新型コロナウイルスの影響でアルバイト等の減少などが想定される18歳以上の大学生等の学業継続を支援するため、「学生応援臨時特別給付金」として同じく6万円の給付金を支給したい。

議員ご提案のとおり、原油価格・物価高騰は学生等に限りず全ての方の生活に影響があるが、18歳の方も含め若い方は経済的自立ができていくとの判断から、「かつやまっ子元気応援臨時給付金」、「学生応援臨時特別給付金」は満18歳以下の子どもを持つ世帯や大学生等を対象に集中して支援していきたい。

松山信裕
新風会・公明
市議会議員



○ 勝山市地方創生総合戦略について ○ 関係人口について

その他の質問

- ・シティプロモーションについて
- ・フィルムコミッションについて

議 平成27年度を初年度とする5か年計画で勝山市地方創生総合戦略が策定された。

①第1期地方創生総合戦略および地方創生交付金事業において数値目標を定めており、重要戦略に係るKPIと重要業績評価指標・KPIの進捗状況と達成状況はどうか。

②勝山市の現状の課題、問題をどのように受け止めて重要業績評価指標・KPIなど第2期総合戦略に活かしていくのか。

理 ①第1期総合戦略のKPIの達成状況については、21項目のうち観光入込客数や観光消費額など観光関連のKPIなど9項目が未達成。

地方創生推進交付金事業のKPIについては、28項目のうち20項目が未達成。市が取り組んできた交付金事業のほとんどが観光関連の事業であったことから、これも新型コロナウイルス感染症拡大の影響が主な要因となっている。

②第2期総合戦略では、現在の定住人口の減少や観光客数の伸び悩みを踏まえ、アフターコロナを見据えた新たな視点での戦略を進めていく必要があると考えている。

議 関係人口とは、移住した定住人口ではなく観光に由来する交流人口でもない、地域や地域の人々と多様にかかわる人々のことを指す。

①勝山市として、関係人口に対する見解についてどのように考えているのか。

②目的に応じた関わり方ができるような地域と関係人口のマッチングに取り組むため、受け入れ態勢をどのように進めていくのか。

理 ①関係人口の創出は、人口減少による労働力不足や地域産業の後継者不足等の課題に対し、地域外人材の知見やスキルを借りることで解決の糸口となり、地域の活性化に結び付けることができると考えている。

②高速交通網の整備進展により、市民と市外県外の人々との交流等が期待される。ワークショップの誘致等で都市人材との接点を増やし、市民や事業者、行政等が連携して関係人口を受け入れる体制を整えていく。

また、まちづくり会館職員等を中心として、機会を捉え、地域の取り組みと関係人口とのマッチングを進めていく。